作词：桥本由香利

作曲：桥本由香利

いくつもの虹が重なり会うと

在数道彩虹重叠交汇之时

風をうけて一人の意味を知った

才知晓了独自迎风的含义

砕け散った空に　風花が舞う

支离破碎的空中 雪花漫天飞舞

ふわふわと　頼りなげに消えた

随风飘落 无依无靠地消逝

過去が明日に代わり

过去终将为明日取代

吸い込まれる未来

渐湮没于未来之中

心覆う闇わ晴れることは無く

覆盖黑暗的内心永无放晴之日

光の外へ心は向かっていく

心向光明之外驱驰而去

そこに何があるの？確かめたい

此间究竟存在何物？想亲眼见证

高く高く目指す景色の果てに　永遠が広がる

以至高至远为目标景色的尽头 延续着永恒

追い詰められて言葉無くして思うのは

当我走投无路语言尽失之时所浮想的是

心の中に散った風花

心中飘舞的雪花

孤独な星座が導くStory

孤独的星座指引着传说

ひたすらに進む道を照らす

一味地照耀着前进的路途

今を生きるために

只为了活在当下

失っていく世界

而失去整个世界

全て包む闇が優しく呼んでる

包容一切的黑暗温柔地呼唤着

光の外へ想いは向かっていく

思绪向光明之外驱驰而去

たとえそこに何もなくてもいい

纵使此间空无一物也无所谓

狂おしく抱いた夢に惑わされ

为疯狂般拥怀着的梦想诱惑

どこまでも堕ちていく

无论何处亦甘心堕落

きっと脆くて愚かな心が

既脆弱又愚蠢的心定是

囚われて行く　このまま

就此被深深束缚 而远去

光の外へと行きたかっただけ

一心只愿奔赴光明之处

寂しい景色から逃れるため

是为了逃避这寂静的景色

高く高く目指す景色の果てに　永遠が広がる

以至高至远为目标景色的尽头 延续着永恒

追い詰められて言葉無くして思うのは

当我走投无路语言尽失之时所浮想的是

心の中に散った風花

心中飘舞的雪花